



ハート保育園 10月の病児室だより

お預かり：月～金曜日 お預かり時間：8:30～17:00 TEL：098-989-0045

10月になり、朝晩過ごしやすくなってきました。そのせいか風邪症状のある子が増えています。食事や睡眠を十分にとり体調を整えてあげましょう。

1. 全国的に8月終わりからインフルエンザが流行しています。今回はインフルエンザについて説明したいと思います。

- ①感染経路：主に飛沫感染である（患者の咳やくしゃみでうつる）
- ②潜伏期間：感染してから症状が出るまでの期間は、通常1～4日間で平均2日。
- ③症状：38度以上の高熱、頭痛、悪寒（寒気）、関節痛や筋肉痛などの全身症状が突然現れるのが特徴です。これに加えて、鼻水、咳、のどの痛み、といった一般的な風邪症状も見られます。又、頻度は少ないですが、吐き気や腹痛、下痢などの消化器症状が出る事もあります。
- ④インフルエンザの診断：発熱して12時間以降でないと検査できません。前もって受診予定の病院に確認するとよいでしょう。おもに迅速抗原検査で調べます（鼻に綿棒をいれて、鼻粘膜をこすり検査します）
- ⑤治療：治療薬は抗インフルエンザ薬を投与します。お薬にはそれぞれ特徴があり、年齢や状況により適切な薬が処方されます。症状発症後48時間を過ぎると、処方されないこともあるため気を付けましょう。
まれにクルーズ症候群、気管支炎、肺炎、急性脳症を併発することもあるため、しっかり治療しましょう。
- ⑥登園と登校について：学校保健安全法施行規則にて定められています。発症した日を0日として、「発症した後5日を経過し、かつ、熱がさがった後2日（幼児では3日を経過）」となっています。
- ⑦インフルエンザ感染症の予防（ワクチン）
例年10月頃から予防接種を開始していますが、今年は前倒しで開始している病院もあるようです。ワクチンは、1つ目は皮下注射で行う不活化ワクチン、2つ目は2024年から使用可能となった、鼻の中に噴霧する生ワクチンです。感染を防ぎ症状を軽く済ませるためにも予防接種を検討ください。
自己での予防策として、うがい、手洗い、マスク着用、人混みを避ける、栄養や睡眠を十分にとるなどがあげられます。家族で予防出来るようにしましょう。

2. 経鼻インフルエンザワクチンについて

鼻の中に霧状のワクチンを噴霧するタイプで生ワクチンです。鼻の粘膜に軽い感染を起こして免疫をつける為、痛みがなく従来の注射によるワクチンと同等の予防効果があるとされています。

<対象年齢> 2歳から18歳未満の人が対象

<効果> 予防効果が1年といわれている。

<副反応> 接種後、鼻水、鼻閉、咳など風邪のような症状がある。

*免疫抑制剤使用中の方、妊婦、授乳中、重篤な喘息がある人、ゼラチンアレルギーのある人は接種できません。

*接種後1～2週間は乳児や重度の免疫不全の人などへの感染を防ぐため、接触を控える必要があります。

*金額は医療機関によって異なり、一般的には8000円となっているようです。1回の接種で済むとのこと。導入していない病院もある為、電話等での確認をしましょう。

♡当病児室では、インフルエンザの方の利用は5日目からとなります。又、薬を内服していない方はご利用をお断りしています。